

# 特定非営利活動法人「いばらきTU・NA・GUジオ」

## 設立趣意書

2022年1月16日

特定非営利活動法人 いばらき TU・NA・GU ジオ  
設立代表者 住所 常陸太田市常福地町69番地  
氏名 石川 昇一

### 1 趣 旨

私達は、これまで培ってきたジオパーク活動を、茨城大学との連携のもと、更に発展させ、地域の振興に貢献するとともに、茨城大学における産学官の連携に民力を加えた、産学官+地域力、即ち「産学官地」という新しい枠組み造りにも貢献したいと考えます。そのために持続可能な組織として特定非営利活動法人を設立し、インタープリター活動を継続・発展させるものであります。

茨城県北ジオパークは、2011年9月に認定され、それと同時に大地の案内人としてのインタープリターの養成の取り組みが茨城大学の尽力により進められ、今日において400名近いインタープリターが誕生しております。

そのような中、2017年12月には、ジオパーク認定取り消しという、思ってもみない境遇にも揺らぐことなく、地域振興への貢献を固く信じ活動を続けているものであります。

私達、インタープリターは、今後、想定されるいろいろの動きに対しても、安定的な活動ができ、その活動が地域社会に貢献できるものと信じ新たな組織を設立するものであります。

水戸市を含めた県北、県央地域は豊かな自然と文化、地質学的にも、他に類を見ないような特徴的な場所を有しており、このような有形、無形の財産を広く知って頂き、そして守り続け、もって地域の振興に繋げていく活動を行っていくことがこの法人の目的です。

この新しい組織における活動は、日本ジオパーク委員会の方針に縛られることなく、更に広い視点での活動を目指し、その活動に当たっては、茨城大学との連携を密にし、茨城大学からは教育、学術面で、私達インタープリターは地域の発展のための地域力を茨城大学に、そしてその成果を地域振興への貢献という形にしたいと考えているものであります。

### 2 申請に至るまでの経緯

2011年 9月 茨城県北ジオパークが日本ジオパーク委員会から認定。

同時にインタープリター（大地の案内人）養成の取り組みが、茨城大学が中心となり実施。（最終的に約400名のインタープリターが誕生している。）

2011年12月 インタープリターがジオサイトへの案内など活動を開始。

2013年 3月 市町村を単位とするインタープリター組織が誕生。

これまで県北地域のインタープリターは茨城大学を中心に任意の活動を行って来たが、市町村を単位に組織化。

（名称は「ジオネット常陸太田」「ジオネット北茨城」など）これを機にジオネットの全体会議、統一行事など活動も組織的に行われるようになった。

2017年12月 ジオパーク認定取り消しとなる。

日本ジオパーク委員会による2015年の再認定審査の結果を踏まえた審査の結果、我が国で初めて、認定取り消しとなった。

再認定を目指すこととして、インタープリターの活動も再認定申請を踏まえ継続実地。

2019年 4月 インタープリターの全体組織「インタープリターネットワーク」の誕生。

茨城県北ジオパークの運営主体である茨城県北ジオパーク推進協議会（構成員：関係市町村、筑波銀行）の構成員となるためインタープリターネットワークを組織化。しかし、諸般の事情により、推進協議会へのメンバー入りは実現しないまま現在に至っている。

2021年 7月 茨城県北ジオパーク推進協議会の解散の方針が示される。

2022年3月末をもって推進協議会の解散の方針が示され、これにより、茨城県北ジオパークは、消滅することとなった。このため、これまでの活動実績を生かし、将来に生かしてゆくことが県北振興のためにも必要であるとして非営利活動法人を設立させ活動を継続させることとし、NPO化推進委員会を設置し検討を重ねてきた。

2021年12月 設立役員会を開催

2022年1月16日に設立総会を開催することとなった。

2022年 1月 非営利活動法人 いばらきTUNAGUジオ設立総会。

1月16日開催。諸議題を決議。

以 上